



農大

2024
7月号

徳島県立農林水産
総合技術支援センター
農業大学校新聞

4月からを振り返って(1)

今月号では、これまでの授業、行事の中で、紙面に入りきらなかったものを紹介します。

① 農学実験

農大では、講義、演習、実習などさまざまな授業を行っています。こちらは、農学実験の授業の様子です。



(上) 農大の水田から検鏡に使用するミジンコを採取します
(左) 顕微鏡で確認したことを色鉛筆を使ってスケッチします



水田のミジンコ
(学生による撮影)



農大の水田からスポットを使用してミジンコを採取しました。顕微鏡で覗いてみると、ミジンコのほかに、数種類の微生物を観察することができました。また、ハウスでトウモロコシ、メロンの花から花粉を採取しました。ヘメロカリスの花粉やスベリヒユの気孔を顕微鏡で確認することができました。



ヘメロカリスの花粉



スベリヒユの気孔
(孔辺細胞)

② 就職活動

6月には、学生の就職活動が本格化します。農業大学校では6月14日に県内の農業法人協会会員の18社が一堂

に会し、2年次生対象に企業説明や個別相談を実施しました。学生たちは企業の方々から直接話を聞いたり質問したりする機会を得ることができ、貴重な時間を過ごしました。何名かの学生は企業側とのマッチング後、インターンシップに参加しました。

③ 農業巡見

6月21日、2年次生が上勝町の「(株)いろどり」を視察し、「いろどり」の展開における地域ぐるみの6次産業化と持続可能な農業に関する研修を受けました。農大OBである横石社長からは「農作物に付加価値をつけることが大切。商品を提供する際には付加価値について研究していくように」とアドバイスをいただきました。その後、JA東とくしま上勝選果場を訪ね、いろどりの商品の見学をし、商品の流通について学びました。また、同町のゼ



ロウェイストセンターを視察し、40種類に「ゴミ」を分別して8割が再資源化されていること、不要品の提供(町民のみ)や持ち帰り(町民以外も)が行われていることを聞きました。町の人たちがゴミを減らし、資源を大切にしている



ことを学び、充実した一日となりました。



学生たちは7月26日に前期末考査を終え、9月8日まで夏休みになります。2年次生は就職活動で忙しくなりそうです。次回、GOO農大8月号では、「4月からを振り返って(2)」と題し、まだまだ農大の特色ある取り組みを紹介いたします。お楽しみに!